

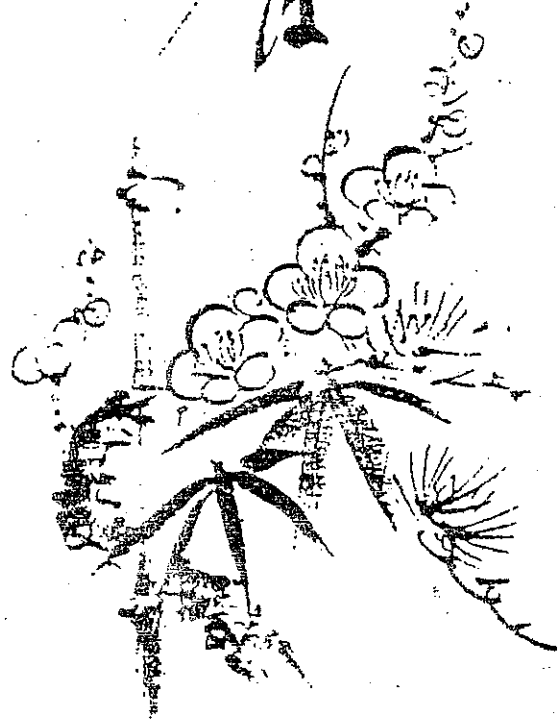
福祉の

かけ橋

迎奏

昭和二十四年

地区社協会長 山崎乙次郎
 自治振興会長 須川 利夫
 町議会 議員 前川 衛
 公民館長 滝田 栄三
 町内会長代表 亀田新三郎
 青年団長 篠原 勇吉
 婦人会長 青山 誠
 林 みつ子



老人クラブ会長 前川 順作
 母子寡婦福祉会長 山本 綾子
 遺族会 支部長 高橋 武蔵
 舟障協会 代表 長田 為二
 傷痍軍人会代表 須川 利夫
 児童教育研究会長 篠原 健作
 母親教育研究会長 篠原美智子

町井郡波砺東山富
 地区社協会
 南山見

広報

心がふれあう
福祉のかけ橋



地域の紐として、南山見地区社協では広報「福祉のかけ橋」を編集発行してまいります。

この広報を地域のふれあいの心のやれあいのかけ橋として、だれかとも親しみを持つて共に福祉の推進に当りたいと希つております。構成内容と次ぎのことを基本としてまいります。

ノ、発行につりて無理をしないこと。

又、福祉のかけ橋をおして心のふれあいをめざすこと（身近で親しめるもの）組織の枠にとらわれず地

区などの団体と紙面を利用できること。

なめを、モットーにし体裁にとわれず予定原稿に遅すれば、随時発行して一つには楽しんでめるよう努め、南山見地区住民の、心のふれあいの広報となるよう願うと共に、ご寄稿を待つてまいります。

地域のない手

婦人会長 林 みつ子

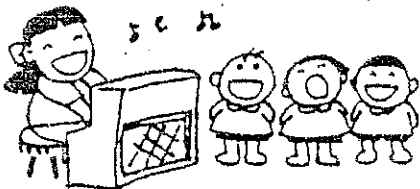
皆様と共に健康で新年を迎えた事を嬉しく感謝いたしております。

私達婦人会と地域福祉の担い手であることを忘れず、事業そのものが婦人としての教養を高め、地区の発展に貢献することを願つていきます。

幸い地区社協が誕生したことから「地域福祉を考ふる勉強会」を始め、福祉に対する婦人の関心が高まりつゝあることは、福祉の町づくりにつながるかと考えています。

いま私たちの地区に寝ざり老人八名、一人暮らし老人六名と聞いています。またこれに準ずる方々もおられると思つております。

今こそ助けあいの道を皆の力で拓き、直面した諸問題に対処してゆくことこそ、私たちの大切な使命かと痛感しております。宜敷おねがい申あげます。



福祉を育む地域は楽しい明日が待っている

まず健康です



健康のご祝

健康でよい年を、お送
えにやうたことを祝福も
うしあげます。

いまだ地域福祉の増進に
町をあげてつとめていま

す、共に頑張
りましょう。



祝 傘寿者以上芳名

院瀬見、高橋はる、高橋エ
キ、武田清吉、長田はる、前
川みゆき、前川かね、前川し
の、前川ツヨ、前川さくひ、
山田助治、山崎ハツイ、山田
はる。武田文太郎、松田キヨ
イ、田村孝三郎、田村きよ。
長田助太郎、前川キヨ、田村

つた。篠原美代、武田正成、
山本つよ、吉田まち、東城寺
谷川太郎、山田かず。清玄寺
池田ひさ、沢田みちい。蓮代
寺、亀田太郎、亀田なを、
久恵清藏、久恵すい、前原安
太郎、山本シイ、前原久信。
寺觀寺、堀越とき。谷、前原
みゆき。戸板、松倉めつ、高
戸るい、小橋一枝。今里、前
原武平、前原まき、岩崎幸作
前原はる。川原崎、直江洋一
直江いとい、前川仁吉、前川
惣一、横江はる。沖、池田源
郎、池田ちよ、倉島洋作、オ
川さく、高田シゲ、富嶋さみ
富田はる、徳成徳太郎、徳成
みよ、富嶋友之。団地、菊地
ナヲ、吉田ゆきい、沖倉嶋ま
計六土名(地区社協役員謝)

サービス配食老人暮らし一人

井波町社協では、毎月一回
一人暮らしの方を、お招き

して「やすらぎの会」
を開設してまいります。冬
期間は、雪のたの配食
サービスとさせていただきます。

お弁当の献立調理は
楽寿荘にお預りして、
嗜好、美味、消化、な
りを考慮し、わかりか
栄養価を重視して、調
理が終わったのです。

お配達予定日は、
一月二十六日 正午
二月二十日
の二回です。

地区社協役員並べのランチ
イアの方が配食いたします。

正史
散步

大森神社

谷村



この社はその名のごとく昭和の初め頃まで、杉の古木が長い参道ぞいり生い繁り、名実ともに大森神社でありました。祭神は、誉田別命と称した。

谷村七
ニ田巻
地へニ
五田坪
に鎮在
されて
います。
この
宮の由
緒沿革
を記す。

ますと、素暗らしい正史を有する御社で、井波八幡宮の社伝によりますと。

今から約五九六年前の明徳四年に、山城国綴喜郡男山八幡宮を勧請して本殿を建立したとあります。

またいつの頃からか、この神社が井波町松島三〇五と巻地つまり、瑞泉寺の城廓内、八幡宮へ遷座したと伝えられていきます。

こうした事とあつてか、現在と井波八幡宮の春の祭礼には、神輿渡御の最先頭に「大森神社の社名旗」が進送する慣例となつてゐることから見ても村人は、その後この御社の祭祀を尊んで来たものと考へられていきます。

また旧大森の宮跡に坊守の山伏、大源寺と言う字名が残していること、何か恐ろしい歴史がまだ多く秘められてゐるようです。(以世英前角)

編集後記



今回の福社のかけ橋は、八十才以上の調査と、ご健康を延ばす意味でもとめて見ました。調査それと在ると思ひます。お気付のことかありましたらお知らせをお願いします。

第四号

発行 昭六四、一月五日
事務所 南山見公民館内

井波町川原崎一五五
八二一五二七六

発行書局 南山見地区社協